

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成25年10月15日

【四半期会計期間】 第54期第2四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社マルヨシセンター

【英訳名】 Maruyoshi Center Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 佐 竹 文 彰

【本店の所在の場所】 香川県高松市南新町4番地の6

【電話番号】 (087)831 9191

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 加 藤 宏 道

【最寄りの連絡場所】 香川県高松市国分寺町国分367番地1

【電話番号】 (087)874 5511

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 加 藤 宏 道

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第53期 第2四半期 連結累計期間		第54期 第2四半期 連結累計期間		第53期	
		自 至	平成24年3月1日 平成24年8月31日	自 至	平成25年3月1日 平成25年8月31日	自 至	平成24年3月1日 平成25年2月28日
会計期間							
売上高	(千円)		20,084,332		20,065,602		39,802,792
経常利益	(千円)		173,276		82,155		415,381
四半期純利益又は当期純損失 ()	(千円)		77,327		2,856		268,306
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		48,675		4,034		259,685
純資産額	(千円)		2,677,648		2,359,101		2,379,986
総資産額	(千円)		20,466,393		22,202,462		19,714,248
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額()	(円)		9.38		0.35		32.57
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		13.1		10.5		11.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,038,183		2,696,472		974,653
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		552,003		750,892		114,309
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		125,616		53,758		715,828
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		884,008		2,559,783		667,961

回次		第53期 第2四半期 連結会計期間		第54期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成24年6月1日 平成24年8月31日	自 至	平成25年6月1日 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		5.99		0.12

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景とした円安・株高による企業収益の改善等で景気は緩やかな回復傾向にあるものの、雇用・所得環境は依然厳しい状況が続いております。また、個人消費については一部で回復傾向がみられるものの、食品等の生活必需商品については節約志向による慎重な購買姿勢が続いております。

当社商圏のスーパーマーケット業界におきましては、従来からの競合に加え、当期よりコンビニエンスストアの新規出店が加わり、業態を超えた競合状態は新たな局面を迎えております。

このような状況のもと、当社店舗では健康とおいしさをキーワードに当社独自商品や旬の素材を使ったお弁当・惣菜類の展開等を強化するとともに、お客様への試食コーナーを増やすなど積極的な働きかけを行っております。

また、6月には茜町店（香川県高松市）の食品売場を増床し、多様な顧客ニーズに対応できる店舗に大規模改装を行いました。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は200億65百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は茜町店の大規模改装に伴う休業及び一時費用の発生もあり2億16百万円（前年同期比32.8%減）、経常利益は82百万円（前年同期比52.6%減）、四半期純利益は2百万円（前年同期比96.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、現金及び預金が23億64百万円増加したことなどにより、前期末に比べ23億18百万円増加し、56億2千万円となりました。

有形固定資産は、前期末に比べ2億4百万円増加の140億35百万円、無形固定資産は、前期末に比べ3百万円減少し、5億84百万円となりました。

投資その他の資産は、繰延税金資産が15百万円増加した一方で、投資有価証券が26百万円、差入保証金が15百万円減少したことなどにより、前期末に比べ31百万円減少の19億52百万円となりました。

繰延資産は、前期末とほぼ同額の1千万円となりました。

(負債)

負債は、前期末に比べ、25億9百万円増加し、198億43百万円となりました。その主な内訳は、買掛金が19億51百万円、退職給付引当金が35百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が22百万円減少したことなどにより、前期末に比べ2千万円減少し、23億59百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の増減については、営業活動により26億96百万円増加いたしました。投資活動により7億5千万円、財務活動により53百万円減少いたしました。この結果、四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ18億91百万円増加し、25億59百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、26億96百万円(前年同期比159.7%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が41百万円、キャッシュ・アウトを伴わない減価償却費3億51百万円、仕入債務の増加19億51百万円、未払金の増加3億34百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、7億5千万円(前年同期比36.0%増)となりました。これは主に定期預金の増加4億73百万円、有形固定資産の取得2億93百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、53百万円(前年同期比57.2%減)となりました、これは主に、リース債務の返済による支出48百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,750,000
計	21,750,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,749,990	8,749,990	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は、1,000株 であります。
計	8,749,990	8,749,990		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年8月31日		8,749,990		1,077,998		813,528

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
佐竹文彰	香川県高松市	1,624	18.56
マルヨシセンター取引先持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地1	918	10.49
有限会社 佐竹興産	香川県高松市一宮町910番地32	499	5.70
マルヨシセンター従業員持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地1	449	5.13
株式会社 百十四銀行	香川県高松市亀井町5番地の1	413	4.72
黒田泰弘	香川県高松市	404	4.62
株式会社 阿波銀行	徳島県徳島市西船場町2丁目24番地の1	386	4.41
桑原洋夫	香川県高松市	202	2.31
佐竹睦子	香川県高松市	201	2.30
株式会社 損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26番地の1	150	1.71
計		5,246	59.96

(注) 当社が保有する自己株式は、460,550株（発行済株式総数に対する所有株式数の割合5.26%）であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 460,000 (相互保有株式) 普通株式 94,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,195,000	8,195	
単元未満株式	普通株式 990		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	8,749,990		
総株主の議決権		8,195	

(注) 1. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式550株が含まれております。

2. 「完全議決権株式(その他)」の株式数欄及び議決権の数欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社マルヨシセンター	香川県高松市南新町 4番地の6	460,000		460,000	5.26
(相互保有株式) 株式会社レックス	香川県綾歌郡綾川町 東分乙60-7	94,000		94,000	1.07
計		554,000		554,000	6.33

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	831,961	3,196,283
売掛金	92,501	127,568
商品	2,041,726	2,049,672
繰延税金資産	84,799	72,933
その他	250,810	173,598
流動資産合計	3,301,798	5,620,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,916,752	17,132,869
減価償却累計額	11,262,431	11,407,193
建物及び構築物(純額)	5,654,320	5,725,675
機械装置及び運搬具	1,958,495	1,921,623
減価償却累計額	1,699,717	1,664,166
機械装置及び運搬具(純額)	258,777	257,456
工具、器具及び備品	2,667,160	2,614,144
減価償却累計額	2,422,440	2,372,203
工具、器具及び備品(純額)	244,720	241,940
土地	7,387,860	7,387,860
リース資産	357,162	584,106
減価償却累計額	112,851	161,444
リース資産(純額)	244,311	422,661
建設仮勘定	41,190	-
有形固定資産合計	13,831,180	14,035,594
無形固定資産	587,688	584,178
投資その他の資産		
投資有価証券	495,267	468,372
繰延税金資産	451,563	467,247
差入保証金	872,081	856,352
その他	185,479	182,302
貸倒引当金	21,250	22,180
投資その他の資産合計	1,983,141	1,952,094
固定資産合計	16,402,011	16,571,867
繰延資産		
社債発行費	10,438	10,539
繰延資産合計	10,438	10,539
資産合計	19,714,248	22,202,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,498,806	4,449,968
短期借入金	3,610,000	2,430,000
1年内償還予定の社債	120,000	132,000
1年内返済予定の長期借入金	2,582,522	2,596,688
未払法人税等	129,391	43,964
賞与引当金	99,325	86,721
ポイント引当金	30,279	31,274
その他	771,367	1,226,353
流動負債合計	9,841,691	10,996,968
固定負債		
社債	380,000	368,000
長期借入金	5,719,505	6,908,326
退職給付引当金	880,219	915,567
役員退職慰労引当金	185,430	188,135
資産除去債務	81,115	81,952
その他	246,300	384,410
固定負債合計	7,492,570	8,846,392
負債合計	17,334,261	19,843,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	693,217	671,206
自己株式	193,482	193,482
株主資本合計	2,391,262	2,369,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,683	44,796
その他の包括利益累計額合計	37,683	44,796
少数株主持分	26,407	34,647
純資産合計	2,379,986	2,359,101
負債純資産合計	19,714,248	22,202,462

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	20,084,332	20,065,602
売上原価	15,282,254	15,418,833
売上総利益	4,802,078	4,646,768
営業収入	289,429	650,250
営業総利益	5,091,508	5,297,018
販売費及び一般管理費		
販売促進費	399,923	393,742
消耗品費	126,969	180,129
運賃	164,006	317,808
賃借料	43,086	27,305
地代家賃	439,967	405,116
修繕維持費	189,451	196,038
給料手当及び賞与	2,006,121	2,147,213
福利厚生費	241,032	258,134
賞与引当金繰入額	93,459	76,184
退職給付費用	49,758	55,649
役員退職慰労引当金繰入額	4,750	7,162
水道光熱費	440,270	462,971
減価償却費	279,214	294,292
その他	290,781	258,435
販売費及び一般管理費合計	4,768,792	5,080,186
営業利益	322,715	216,832
営業外収益		
受取利息	1,911	1,578
受取配当金	2,722	3,385
保険配当金	288	3,819
受取手数料	3,539	3,320
その他	4,376	6,501
営業外収益合計	12,838	18,604
営業外費用		
支払利息	149,463	144,624
持分法による投資損失	1,396	-
その他	11,418	8,657
営業外費用合計	162,277	153,282
経常利益	173,276	82,155
特別損失		
固定資産除却損	4,169	40,532
特別損失合計	4,169	40,532
税金等調整前四半期純利益	169,106	41,623
法人税、住民税及び事業税	74,744	30,072
法人税等調整額	17,034	402
法人税等合計	91,778	30,475
少数株主損益調整前四半期純利益	77,327	11,148
少数株主利益	-	8,291

四半期純利益	77,327	2,856
--------	--------	-------

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,327	11,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,767	7,113
繰延ヘッジ損益	166	-
持分法適用会社に対する持分相当額	50	-
その他の包括利益合計	28,652	7,113
四半期包括利益	48,675	4,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,675	4,205
少数株主に係る四半期包括利益	-	8,240

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	169,106	41,623
減価償却費	352,097	351,693
有形固定資産除却損	2,841	7,789
貸倒引当金の増減額(は減少)	930	930
退職給付引当金の増減額(は減少)	17,211	35,348
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,750	2,705
受取利息及び受取配当金	4,634	4,963
支払利息	149,463	144,624
売上債権の増減額(は増加)	12,223	35,067
たな卸資産の増減額(は増加)	42,862	7,244
仕入債務の増減額(は減少)	543,219	1,951,161
未払金の増減額(は減少)	66,173	334,551
前受金の増減額(は減少)	4,949	1,292
未払消費税等の増減額(は減少)	11,107	2,655
その他	48,660	114,853
小計	1,300,893	2,934,058
利息及び配当金の受取額	4,466	4,867
利息の支払額	150,332	127,772
法人税等の支払額	116,843	114,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,038,183	2,696,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	612,000	622,700
定期預金の払戻による収入	149,000	149,000
有形固定資産の取得による支出	61,201	293,455
無形固定資産の取得による支出	11,840	15,943
差入保証金の差入による支出	789	32,528
差入保証金の回収による収入	10,852	46,596
投資有価証券の取得による支出	34,605	1,804
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,314	18,315
その他	3,265	1,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	552,003	750,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	546,000	1,180,000
長期借入れによる収入	1,917,000	2,430,000
長期借入金の返済による支出	1,394,047	1,227,013
社債の発行による収入	-	56,976
社債の償還による支出	50,000	60,000
リース債務の返済による支出	28,131	48,964
配当金の支払額	24,437	24,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,616	53,758
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	360,562	1,891,821
現金及び現金同等物の期首残高	523,445	667,961
現金及び現金同等物の四半期末残高	884,008	2,559,783

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務等

西淡まちつくり株の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
当社代表取締役 佐竹文彰	279,160千円	279,160千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金	1,506,008千円	3,196,283千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	622,000千円	636,500千円
現金及び現金同等物	884,008千円	2,559,783千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月29日 定時株主総会	普通株式	24,868	3	平成24年2月29日	平成24年5月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	24,868	3	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループは、報告セグメントが小売事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」には、レストラン等が含まれておりません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	9円38銭	0円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	77,327	2,856
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	77,327	2,856
普通株式の期中平均株式数(株)	8,245,612	8,223,640

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月8日

株式会社マルヨシセンター
取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤善孝 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 本間洋一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルヨシセンターの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルヨシセンター及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成25年2月28日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成24年10月5日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成25年5月29日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。